

木曾漆器のお膳をReデザイン

内山紙のステーショナリー

作品募集

信州デザインコンペ 2017

信州の工芸を今の生活に

信州に根付いたさまざまな工芸を、デザインの視点で活性化することを目的に作品を募集します。
課題「木曾漆器のお膳をReデザイン」「内山紙のステーショナリー」それぞれ新鮮なアイデアをご応募ください。
第1次選考会を経て選ばれた数点は、課題提供者によって試作され、第2次選考会にて各賞が決定されます。



スケジュール

応募締切り 2017年9月29日(金)



第1次公開選考会 2017年10月7日(土)



第1次選考発表

信州デザインデイズ2017 2017年10月21日(土)、22日(日) 片倉館(諏訪市)

信州ブランドフォーラム2017 2017年11月22日(水) 長野市生涯学習センター(長野市)

※展示会場で一般投票を行い第2次審査で参考とします。



第2次公開選考会(2018年)

2018年2月初旬に、作者による試作品を伴ったプレゼンテーションで審査を行い、各賞を決定します。

応募締切り 2017年9月29日(金)

 長野県デザイン振興協会

木曾漆器のお膳をReデザイン

過去にはこの産地の主力製品であったものが、今失われようとしています。かつて木曾漆器が支えた消えつつあるカタチを、現代生活に合ったアイデアで新しい命を吹き込んでください。テーマは宗和膳を代表とする木曾の塗りとお膳である「お膳」。木曾漆器の良質な素材と、高度な技術を生かした伝統の品です。国内外さまざまな方々に使っていただけるような斬新な作品を希望します。

そうぞん

宗和膳

黒塗りまたは朱塗りのお膳の四脚の膳。
江戸時代に「お膳」の形になり普及した。
庶民に浸透したのは江戸後期から明治時代。



課題提供者

- 木とうるしの会
手塚 英明 ちきりや手塚万右衛門商店
<http://www.chikiriya.co.jp>
- 太田 忠 やまとみ工藝
荻村 正公 マルチカ荻村漆器店
長谷川廣咏 長谷川漆工房
酒井慶太郎 酒井産業(株)
岩原 篤 (有)木曾漆工
石本 則男 うるし工房 石本玉水
大河内 淳 (株)大河内家具工房
<http://ohkochikagu.com>

木曾漆器工業協同組合HP
<http://kiso.shikkikumiai.com/>

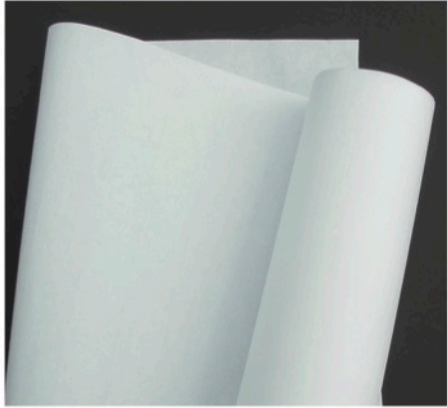
内山紙を使ったステーションナリー

雪深い奥信濃で作られ、伝統的工芸品指定の最高級障子紙としても知られる和紙「内山紙」を使ったステーションナリーを募集します。楮(コウゾ)のみを原料としてつくられる強靱で通気性、透光性、保温性に優れた、内山紙の特徴を活かした作品をご提案ください。ハガキ・便せん・封筒といった定番アイテムはもちろん、現代の生活にマッチする新しいステーションナリーのアイデアを待っています。

うちやまがみ

内山紙

内山紙は楮(コウゾ)のみを原料として、洋紙パルプを混入していません。
また製造工程でコウゾの繊維を雪にさらすことによる漂白効果で得られた自然な白さは丈夫で日焼けしにくく長持ちします。



課題提供者

内山紙協同組合
(有)阿部製紙 阿部 拓也

プロフィール
1997年 (有)阿部製紙にて紙漉きを始める。
2010年 内山紙の伝統工芸士に認定される。

内山紙協同組合
<http://www.uchiyama-gami.jp>



応募対象

どなたでもご応募できます。グループでの応募も可能です。

応募点数

応募点数の制限はありませんので、何点でも応募できます。※未発表作品に限ります。

応募料

無料

選考基準

実用化・商品化を前提としたデザインであるか
現代の生活者に信州の工芸の素晴らしさを伝えているか
審美性を備えているか

応募締切り

2017年9月29日(金)必着 (作品提出先は下記に記載)

発表

1次、2次とも選考会、当会サイトで受賞者のお名前のみ発表

賞/賞金

- グランプリ……………1作品(優秀賞2作品の中から選出 賞状/副賞 賞金10万円)
 - 優秀賞……………1作品(各テーマから1作品【計2作品、どちらかをグランプリに選定】を選出 賞状/副賞賞金5万円)
 - 選考委員特別賞…3作品(賞状)
 - 学生グランプリ……………1作品(学生作品から選定)賞状/副賞 賞金2万円
- ※総合グランプリが学生の場合、それに次ぐ学生作品が受賞となります)
※各賞の受賞作品数などは選考の都合上により変更する場合がございます。

応募方法

1作品につきB3台紙(ヨコ扱い)3枚を上限に、完成予想図と作品コンセプトをまとめてご応募ください。長野県デザイン振興協会のホームページから「応募票」「応募用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入ください。「応募票」はすべての台紙の裏面右下に貼付し、「応募用紙」も同封してお送りください。モックアップや試作品がある場合も「応募票」を貼付し一緒にお送りください。モックアップや試作品の配置に指定がある場合別紙に配置図を記載し同封しご応募下さい。



選考委員



和田 功氏
信州大学 信州大学繊維学部
先進繊維・感性工学科
感性工学コース 教授
/プロダクトデザイナー

「デザイン」、それは新たな実践科学 ～【論理 × 感性】が拓く未来～
デザインにおいては、理論化された知識や方法(形式知)と、伝承しにくい目利力や創造の瞬間の力(暗黙の知識)の双方を、開発・マネジメントに活かしていかなければなりません。開発研究を通じ、言わばこの【論理×感性】を探索し続けています。
デザイン開発歴:世界初のMini-Discプレーヤーを初め、生活用品から医療機器、そしてアドバンスデザインまで。



内田 和美氏
富山大学 芸術文化学部
プロダクトデザイン 教授

1962年4月2日生まれ。
1986年多摩美術大学プロダクト卒業。
マツダ株式会社、Volkswagen AG、Audi AG、Porsche AGへ入社。
チーフデザイナーとしてゴルフやカイエン等の開発を手がける。
2004年帰国後、MIE Design代表就任。
2013年から富山大学芸術文化学部プロダクトデザイン教授兼任。
現在はトランスポートデザインやプロダクトデザインを軸に信州と富山をデザインで結ぶ北信越プロジェクトを展開中。
主な受賞は、グッドデザイン賞、レッドドットアワード受賞、他など。



山口 美緒氏
編集室いとぐち代表

1978年長野県小諸市生まれ。
都市計画・地域景観計画を学び、長野県の出版社に入社。
信州の自然に寄り添う暮らしが生み出す風景が長く続いてほしいという思いのもと、2009年に編集プロダクション「編集室いとぐち」を立ち上げ、信州の風土の豊かさ、尊さを伝える仕事に携わる。
編著「信州蕎麦ごのみ」のほか、編集本に「日本酒で愉しむ信州の二十四節気」「信州の伝統食」「いいやま旅々」、主催イベントに「ワイン&シールドガーデンin NAGANO」など。

スケジュール

- 応募締め切り
2017年9月29日(金)必着 (作品提出先は下記に記載)
- 第1次公開選考会
2017年10月7日(土)
公益社団法人長野県教育文化厚生会館 別館2階 大会議室
長野県長野市593 TEL 026-237-8115 <http://kouseikyokai.com>
モックアップ試作品を絞り込む(5~10点)
一次審査通過作品作者に連絡するとともに、「木とうるしの会」「阿部製紙」の協力で選定作品の試作にとりかかります。
- 第1次選考発表(上位作品を展示します)
信州デザインデイズ2017
2017年10月21日(土)、22日(日) 片倉館(諏訪市)
信州ブランドフォーラム2017
2017年11月22日(水) 長野市生涯学習センター(長野市)
※展示会場で一般投票を行います。(第2次審査で参考とします)
- 第2次公開選考会(2018年)
2018年2月初旬に、作者による試作品を伴ったプレゼンテーションで審査を行い、各賞を決定します。

商品化・実用化

- 原則として優秀賞作品を実用化・商品化することを目指し、受賞作の商品化権利は受賞発表から1年間、テーマ提供企業が有します。ただし、経済的・物理的要件などを総合的に判断し、優秀賞作品以外から実用化・商品化をする場合があります。
- 採用作品の応募者は、実用化・商品化に向けて、継続的に作業を行うものとします。作業に当たっての企業訪問の交通費・宿泊費等は自己負担となります。
- 採用作品の実用化・商品化にあたり、応募者と企業は当該デザインの使用条件(知的財産権の帰属や対価)に関する契約を締結します。具体的な条件は、長野県デザイン振興協会が仲介者となり、応募者と企業の条件を協議して決定します。

注意事項

- 選考対象外の作品について
以下の事項に該当する作品は、選考対象から除外します。受賞発表後であっても受賞を取り消す場合があります。
・応募手続きの諸規定に反する作品
・既発表のデザインと同一、または酷似した作品
・他の知的財産権の侵害が明らかとなった作品
なお、応募者は応募作品の意匠及び商標について、提出前における程度の類似調査をしてください。
参考サイト:特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)
<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

○作品の管理、返却について

- ・主催者は不慮の災害や事故等が原因による焼失、損傷についての責任は負えませんので予めご了承ください。
- ・原則作品は返却いたしません。返却を希望される場合はご連絡ください。着払いでご返却いたします。

○その他

- ・応募作品の制作や郵送に要する経費は、応募者が負担するものとします。
- ・主催者は作品を展示し、Webサイト、カタログ、パンフレット等に掲載するとともに、本事業及び公的な目的において公表することができます。
- ・本事業で入手した個人情報は、主催者ならびに主催者の委託を受けた者が本事業の実施に必要な範囲でのみ利用し、本人の許諾無しに第三者への提供等は一切いたしません。

ヒヤリングシート

<http://www.ndpa.jp> 各社からヒヤリングしたより詳細な情報を当協会サイトで公開しております。

お問い合わせ先 ※課題提供企業へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。

長野県デザイン振興協会 事務局

〒380-0838 長野県長野市東町584 長野県経営者協会会館内 TEL:026-238-6360 FAX:026-238-6442 E-mail contact@ndpa.jp <http://www.ndpa.jp>

作品送付先

長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 人間生活科学部 宛

〒399-0006 長野県松本市野溝西1-7-7 TEL:0263-25-0981 FAX:0263-26-5350 <http://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/joho/>